



ベストワンドットコム (東 M:6577)

説明会:2019年3月13日

担当:岸 和夫

【連結】 (百万円、%、円:権利落ち修正後、会/会社計画、予/エース経済研予想)

| 決算期 | 売上高 | 伸率 | 営業利益 | 伸率 | 経常利益 | 伸率 | 当期利益 | 伸率 | EPS | 配当 |
|------------|-------|----|------|-----|------|-----|------|-----|------|------|
| 2019/7 2Q累 | 879 | 10 | 18 | -76 | 16 | -80 | 9 | -83 | 7.7 | 0.00 |
| 2017/7 | 1,196 | 28 | 48 | 324 | 51 | 816 | 34 | 595 | 35.4 | 0.00 |
| 2018/7 | 1,587 | 33 | 120 | 148 | 115 | 123 | 77 | 123 | 69.2 | 0.00 |
| 2019/7 会 | 2,170 | 37 | 154 | 28 | 150 | 30 | 100 | 29 | 82.1 | 0.00 |
| 2019/7 予 | 2,170 | 37 | 154 | 28 | 150 | 30 | 100 | 29 | 82.1 | 0.00 |

| 【セグメント情報】 | 19/7期2Q | 【PER】 | 【財務指標】 | 19/7期2Q |
|-----------|---------|------------|--------|-------------------|
| 旅行業 | 100% | 17/7 83.1 | BPS | 531.6円 株価(3/13終値) |
| | | 18/7 42.5 | 純資産 | 656百万円 売買単位 |
| | | 19/7予 35.8 | 総資産 | 2,453百万円 発行株数 |
| | | | 時価総額 | 3,652百万円 PBR |

注:EPS、BPSは自己株式を除いて計算。

2019年2月1日付で1株→2株の株式分割を実施。

<注目ポイント>

1 クルーズ旅行に特化したオンライン旅行企業、「ベストワンクルーズ」等を運営

販売はインターネットに限定、専門スタッフと24時間オンライン予約で対応

主に個人顧客をターゲットに、日本発着クルーズや海外クルーズの乗船券、パッケージ旅行を販売。主要サービスは、①**ベストワンクルーズ**:クルーズ乗船券とパッケージツアーをオンラインで検索・予約可能な専門サイト。乗船券、自社企画商品に加え、提携旅行会社のツアーも予約可能。取り扱いコース数は19/1月末22,000コース。②**フネムーン**(ハネムーンクルーズ専門サイト):独立したサイトとしてマーケティングを行い、当初クルーズを検討していなかったハネムーンナーへアプローチ。③**ファイブスタークルーズ社**(連結子会社):高級船を専門に取扱っており、富裕層やシニア層をターゲットにしている。

2 えびす旅館を買収、ホテル事業に進出

えびす旅館(京都駅徒歩7分)は、客室数9室(最大宿泊人数27名)の外国人(インバウンド)向けのホステル型の宿泊特化型施設。グループ内に宿泊施設を所有することで、独自商品(ホテル泊付きクルーズツアー)の開発やグローバル人材の獲得などを想定。今後は、東京、横浜、名古屋、神戸、大阪、金沢、福岡を有力候補地とし、年1件程度展開。

3 19/7期2Q(累)は76%営業減益だが、下期挽回しよう

大幅減益の要因は、広告費、人件費の増加に加え、上記M&Aの手数料等で、販売管理費が73百万円増加したこと。19/7期は、オーバーライドコミッション(船会社からのリベート・販促金)の入金が下期に集中する。さらに、GWの受注も順調なこと等から、通期計画に変更なし。

投資判断

19/7期2Q(累)決算の発表を受けて、株価は大幅下落となったが、割高感は解消されつつあると思われ、打診買いを検討。

《アナリストによる宣言》

私、岸 和夫は本調査資料に表明された見解が、対象企業と証券に対する私個人の見解を正確に反映していることをここに証明します。
また、私は本調査資料で特定の見解を表明することに対する直接的または間接的な報酬は、過去、現在共に得ておらず、将来においても得ないことを証明します。

《利益相反に関する開示事項》

- エース証券株式会社(以下、エース証券)及びグループ会社は、本資料に掲載された企業の売買あるいは当企業に対し、引受、その他のサービスを提供する場合があります。
- 株式会社エース経済研究所(以下、ARI)は、エース証券との契約に基づき、エース証券への資料提供を一定期間、継続的に行うことに対し包括的な対価をエース証券から得ておりますが、本資料に対して個別に対価を得ているものではありません。
また、銘柄選定も ARI 独自の判断で行っており、エース証券を含む第三者からの銘柄の指定は一切受けておりません。
- 執筆担当者、ARI と本資料の対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。

金融商品取引法に基づく表示事項**■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等**

商号等: エース証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号
加入協会: 日本証券業協会
指定紛争解決機関: 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

■手数料等及びリスクについて

●株式の売買には、約定代金に対して最大 1.242%の手数料(約定代金が 100 万円以下の場合、最低手数料 2,700 円)(税込み)が必要となります。●株式は、株価の変動により、損失を生じるおそれがあります。●上場有価証券等書面の内容をよくお読みください。●外国株式は、為替相場の変動等により、損失を生じるおそれがあります。●非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債)を当社が相手方となりお買い付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。●債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。●外国債券は、為替相場の変動等により損失を生じるおそれがあります。●商品毎(投信・外債含む)に手数料等及びリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客様向け資料をよくお読みください。

エース証券及び ARI 免責事項等

- **当資料により株式・債券・その他金融商品(投信・外債含む)等の勧誘を行うことがあります。**本資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。また、株式・債券等の有価証券の投資には、「手数料等及びリスクについて」に記載のとおり、損失を生じるおそれがあります。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願い致します。
- 本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて ARI が作成し、エース証券(以下、当社)がお客様にご提供いたしますが、当社及び ARI は、ARI が基にした情報及びそれに基づく要約または見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。本資料に記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更することがあります。
- 本資料を利用した結果、お客様に何らかの損害が発生したとしても、当社及び ARI は何らの責任を負うものではありません。
- ※ (著作権等)・・・本資料に関する一切の知的財産権は、原則として ARI に帰属します。電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、本資料の無断転用、複製等を行わないようお願い致します。